



つつじ (京都府長岡京市)

つつじ（躑躅）は、ツツジ科ツツジ属の植物で、鮮やかなピンク色の花が印象的な植物です。桜（ソメイヨシノ）の花が散る頃から初夏にかけて開花します。刈り込みができる性質から、生垣や低木の街路樹の足元に植栽されるなど、さまざまな場所に植栽され、色々な街の風景に溶け込んでいます。

この花は、主にアジアに広く分布し、ネパールでは国花にもなっています。日本でも古くから栽培され、花を摘んで花片の下から蜜を吸うことができますが、レンゲツツジには致死性になりうる毒があるため注意が必要です。

写真のつつじは、京都府長岡京市 長岡八幡宮で撮影したものです。

◆◆ 主な内容 ◆◆

【インフォメーション】

- ・令和4年度『「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査結果』を公表しました！

近畿農政局からのお知らせ

- ・統計情報 作物統計調査 令和4年産かきの結果 樹面積、収穫量及び出荷量（和歌山県、奈良県）

和歌山県拠点からのお知らせ

- ・棚田の魅力を発信
和歌山県内の「つなぐ棚田遺産」情報
- ・和歌山県で全国棚田（千枚田）サミットが開催されます

【トピックス】

- ・学生の皆さん、令和5年度もやります！ 近畿農政局出張講座

公式SNS



←農林水産省公式Facebook、Twitter及びYouTubeは、近畿農政局ホームページからもアクセスできます。

新鮮mini情報のバックナンバーは、「近畿農政局 ミニ情報」で検索できます。

農林水産省

令和4年度『「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査結果』を公表しました！

農林水産省は、野菜・果物の消費拡大の推進に向け、新型コロナウイルス感染拡大の影響による野菜・果物の需要の変化を把握するための調査を実施し、結果を取りまとめました。

調査の目的

野菜・果物の1人1日当たりの平均摂取量（令和元年）は野菜280.5g、果物100.2gで、「健康日本21（第二次）」（厚生労働省策定）等で目標とする野菜350g、果物200gにいずれも達しておらず、1人当たりの野菜・果物の摂取量の増加が課題となっています。

このため、新型コロナウイルス感染拡大の影響による野菜・果物の需要の変化を把握し、家庭需要の伸びている品目等について産地へ情報提供するとともに、国産野菜・果物の消費拡大施策の検討のための基礎資料とすることを目的に本調査を実施しました。

調査内容

＜消費者向け＞

野菜・果物について、摂取に関する変化や産地・小売業者等への要望等に係るアンケート調査を実施

＜小売業者向け＞

野菜・果物について、販売方法や消費者ニーズの変化等に係るアンケート調査を実施

＜仲卸・卸売業者向け＞

野菜・果物について、販売方法や実需者・消費者ニーズの変化等に係るアンケート調査を実施

調査方法・調査対象

＜調査方法＞

インターネット（オンライン）又は郵送によるアンケート調査

＜調査対象＞

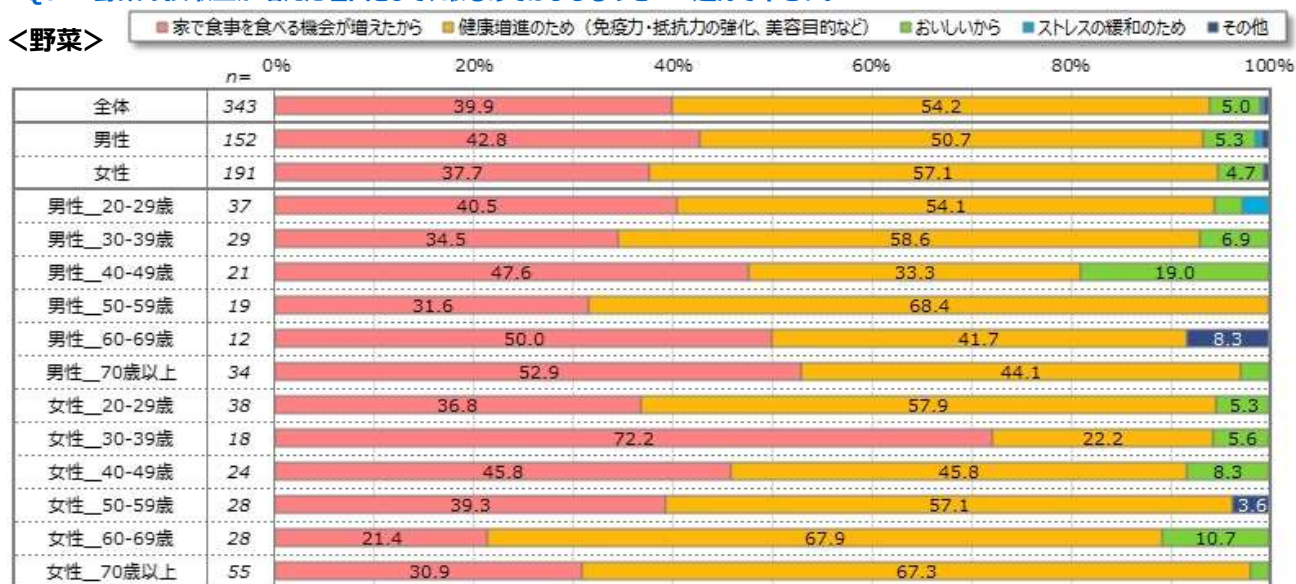
消費者：2,098名（回答者の年代・性別の構成比は、統計局人口推計「2022年11月1日現在（概算値）」に準じる）

小売業者：8業者

卸売・仲卸業者：10業者

消費者向けアンケート結果（概要）※サンプル数が少ないので参考値

Q6-1.野菜の摂取量が増えた理由として、最もあてはまるものを一つ選んで下さい。



※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う野菜摂取増加者のみ
※3.0未満のデータラベルは非表示

お問合せ先

農産局園芸作物課

担当者：中村・高畑・藤富

ダイヤルイン：03-3502-5958

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/aftercovid19/1.html>



学生の皆さん！

令和5年度もやります！ 近畿農政局出張講座

近畿農政局では、次代を担う学生たちに、食料の現状や、農業・農村に係る幅広い知見や知識を有してもらうことにより、将来、地域を活性化する人材となってもらうことを目的として、出張講座を実施しています。

1.対象範囲

近畿2府4県の大学、短期大学等

2.講座内容

食料・農業・農村に係る現状等、農政全般について
(例)

みどりの食料システム戦略について

食料・農業・農村を巡る状況について

食料・農業・農村基本法検証について

食の安全と消費者の信頼確保について

担い手への農地集積・集約化、農業生産基盤の整備について



(京都大学での講義の様子)

3.申し込み方法

(1) 食料・農業・農村に関心をお持ちの大学であれば、学部・学科は問いません。

講義・ゼミの1コマ等、ご希望に合わせて対応します。

(2) できれば講座開催ご希望日の2ヶ月前までに以下のページよりお申し込みください。受信確認後、担当より対応の可否を連絡させていただきます。

お申込みはこちら <https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/20161209.html>



過去の出張講座取組事例（令和5年1月～）令和4年度実績 31講座

開催校	学部	テーマ	開催日
大阪公立大学	農学部	日本・近畿の「食」と「農」について	令和5年2月
京都大学	農学部	ストックマネジメントの取組	令和5年1月
神戸大学	農学部	近畿地方における農業農村整備事業の概要	令和5年1月
京都精華大学	人文学部	食と農をめぐる情勢	令和5年1月
追手門学院大学	地域創造学部	農山漁村の6次産業化の状況について	令和5年1月

お問合せ先

企画調整室

担当者：出張講座担当（南嶋、勝田、徳田）

TEL：075-414-9037

詳しくはこちら

(近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/kikaku/senryaku/syutyokouza.html>



農林水産省近畿農政局

近畿農政局 HP →



企画調整室	〒602-8054	京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)451-9161
滋賀県拠点	〒520-0044	大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6F	TEL(077)522-4261
京都府拠点	〒602-8054	京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)414-9015
大阪府拠点	〒540-0008	大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F	TEL(06)6943-9691
兵庫県拠点	〒650-0024	神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4F	TEL(078)331-9941
奈良県拠点	〒630-8113	奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎3F	TEL(0742)32-1870
和歌山県拠点	〒640-8143	和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎5F	TEL(073)436-3831

近畿農政局
メールマガジン

